

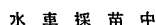
發 行 所

会長理事 山田岸松
TEL 681-6954~7
一部 10円

昭和五十三年度の
のり漁期を迎えて

本年度の養蠶は十一月に入り、早い地区ではすでに臨時の入札会が開催されるなど、いよいよ本格の漁期に突入しています。

本県においてもそろそろ本販りも開始されるところとなりましたが、本格的な生産期を迎えるにあたり、今漁期の全国的な作柄予想をふまえ、また本年度の消費動向、更には昨シーズンの結果等を十分分析のうえ、新漁期におけるのり生産の心がまえを、今から確立して頂きたいものです。



今シーズンは全国的に安定した海況のもとで採育苗が行われ、各地区とも好調に推移しており、今日まで実施された入札会の結果をみても、昨年度を上回る実績となっており、すでに今期であろうと予測されております。

海難は過信と慣れと油断から

本船航路での操業に注意を

兵 庫 県
漁 連

「これは、十一月二日から」	油船は過信と慣れと油
はわれる全海難防止強調を訴えてきた。	この間、十一月十九日まで発生防止と道義的安全操業を通じてまた再三、事故
の事	各種会社や広報文書の一環として、新聞紙上の不利益等を被歴す
真の事故原因である。事	誤まれば人命事故につながるものであり、又最近では外国船主やP&Yクラブから一漁船群の無基操業

東海漁船は昨木、海難の発生防止のため「瀬内海漁業の現状と海難事故の対策」を発刊し、特に衝突事故が現実には増加し特に及び神戸・港付近では集中的に発生し、なかでも外国船舶とのトラブルが六割を占めている。この衝突事故は一步いふケースもあり得る

最近の漁船保険動向

内海漁船保險組合 專務理事 浅井 政治

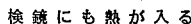
野山も紅葉し、海辺も
 人であらひ、日毎に秋が
 深く、読むにスポーツ
 に馴染に満ちた日々をお
 過しより。口頭は
 漁船保険盤興につき何か
 とご支援助け感謝してお
 ります。貴重な紙面を拝
 借し、最近の保険動向に
 ついて報告します。組合
 の近況は皆さん方の理解と
 ご協力の結晶により、業務も極めて順
 調に伸び、今期は理事会創立四十周年を迎
 え先般開かれた組合会で、新春早々細
 やかながら記念式典を挙げてお
 決り行事につき検討中である。果しな
 られた業務内容は、
 七千隻、保険金額七
 十六兆、てんば範囲
 衝突賠償金てん補特
 可成多、処理件数
 保険金一億六千万
 は増加する傾向にあ
 り、機関管理体制の
 ものが目立って多く
 化に繋がらない取扱
 為に操船を誤り衝突
 又一入乗の操業船も
 準のてなかりうか。
 のような機関を据付

は全主、分、数及び八億、付保率七千四百件で事故発生も多くなり、更に支払。主な事故原因分と認められる漁船機関の高速航行、技術未熟さなどが相応し

新し保険として設定された漁船積荷保険は、まづろはえなわ他十一種類に限られ、漁獲物を対象として既に五カ年の試験実施を好成绩裡に終り本格事業への切替が当然である。然しながら漁船舶主責任保険、漁船乗組主保険及び国際操業漁船舶償還事業等複雑な事情も絡み、今後更に試験期間を五カ年間延長される。船主責任保険、乗組主保険は共に表裏一体をなすものであるが施行以来二年に満たない。漁民の理解深々、現在基本契約数千六百七十八隻、保金額八十億八千万円、乗組員の人命特約八百八名、人命障害特約約八百八名、乗組船主の人命特約九百

昭和五十六年九月より本格実施することを目途として業界挙げて準備に取り組んでいるところである。

保険、共済推進センターを全国五ブロックで設置普及宣伝、研修、調査研究等の事業を行っているが初年度のこともでありセンター設置のＰＲに留まり、保険、共済の具体的な普及宣伝の域に進むことが出来る、事業内容の異なる関係もあって意見が分れている。強力な行政指導が望ましい。漁船保険事業を充実するには付保率のアップ、給付額の拡大、事故防止と生命の安全を守り、漁民負担保険料は低廉なものとなねばならぬ。



われたものと考えられま

六億八千萬枚

(一) 生産目標數量
需給の均衡を基本とし、更に消費の拡大をはかることから、全国生産目標數量は七三億枚（昨年度七一億枚）と決定。

本県目標數量は約六億八千万枚。

れた場合は、全量隔離し別途処分する。

(三) 共販時期
流通サイドにおいて仕入期、販売期と夫々専念できるように共販時期は極力短縮することに努め、生産期中共販の価格維持をはかる。

消費の拡大をはかるため
生販一体となった消費宣伝
活動を実施する。実施方法
については生販で組織され
た企画委員会及び各プロセ
ク代表による小委員会等で
有効適切な方法を検討のう
え実施する。

第五回	1月25日(木)
第四回	1月17日(水)
第三回	1月6日(土)
第二回	12月21日(木)
第一回	12月10日(日)
兵庫県乾海苔共販日程	
昭和53年度	

好まれる兵庫のりを

第七回 2月14日 (水)

信用基金25周年

漁業信用基金中央会二十五年式典が十月二十五日した。その席上本県協会役・彰がそれぞれ記念品と共に東京において開催され、本職員より二十年以上の非常授与された。

又職員十五年以上として陸

5月の海況と漁況

◎ 海況

※大阪湾(淡路島側)……5月22日の調査結果では北部各層17.0℃内外を示し+1.4℃内外高目。南部表層18.0℃内外、中・底層17.5℃内外で表・中層はほぼ平年並、底層は+1.0℃内外高目を示した。

※播磨灘……1～2日の調査結果では東部各層13.7℃内外、北西部表層14.5℃内外、中層13.3℃内外、底層12.0～12.7℃で各層間に±1.0℃内外の偏差、中・南部各層13.5℃内外で全域にわたってほぼ平年並を示した。

※紀伊水道北部……22日の調査結果では東・中部各層19.0℃内外、西部各層16.4℃で前月同期に平年比較で示した東部の中・底層-1.0～-1.5℃の低水温値、また逆に中部での+1.7℃の高水温の異常分布は解消し全域にわたってほぼ平年並を示した。

◎海況(各地)

註・以下は1日1隻当りの平均漁獲量、@は1キロ当りの平均単価目、何隻は操業隻数

※明石浦……小型底曳網 メイタカレイ 10キロ@5,500、アマカレイ15キロ@4,000@2,500、マダコ10キロ@1,000、エビ10キロ@750、アナゴ4キロ@1,200、20隻(大阪湾北西部)。メイタカレイ10キロ@5,500、アマカレイ17キロ@2,500、マダコ10キロ@1,000、エビ10キロ@750、アナゴ5キロ@1,350、15隻(明石海峡)。ススキ曳網20～30キロ@2,000～2,500、50隻。アナゴ延縄100キロ@900、2隻。ブンチン漕イシカレイ17キロ@1,100、4隻。

※岩屋……小型底曳網 アナゴ5キロ@750、エビ10キロ@750、メイタカレイ2キロ@1,200、ハリイカ3キロ@750、ススキ2キロ@1,200、10隻。船曳網カタクチシラス230～2,000キロ@1,100、20隻。1本のメバル2キロ@1,560、アイナメ2キロ@1,650、ススキ2キロ@2,200、40隻。延縄アナゴ40～120キロ@800@320、25隻。キス流刺網10～30キロ@1,200、4隻。

※由良……小型底曳網 マダイ10キロ@4,260、20隻。メイタカレイ2キロ@2,640、アナゴ3キロ@970、アカシタ3キロ@990、ハリイカ6キロ@1,000、マダコ3キロ@1,480、小エビ10キロ@360、シラサエビ4キロ@2,200、55～60隻。1本のマダイ2キロ@4,320、ススキ3キロ@1,900、50隻。曳網サワラ3キロ@1,700、アジ2キロ@2,000、100隻。各延縄ハモ30キロ@3,050、4隻。アナゴ25キロ@980、カサゴ20キロ@1,120、5隻。キス10キロ@2,000、5隻。各刺網キス20キロ@1,200、7隻。ベラ10キロ@1,120、ハリイカ7キロ@1,000、カサゴ5キロ@2,000、7隻。タコ壺網20キロ@1,550、3隻。突棒アワビ5キロ@2,100、10隻。

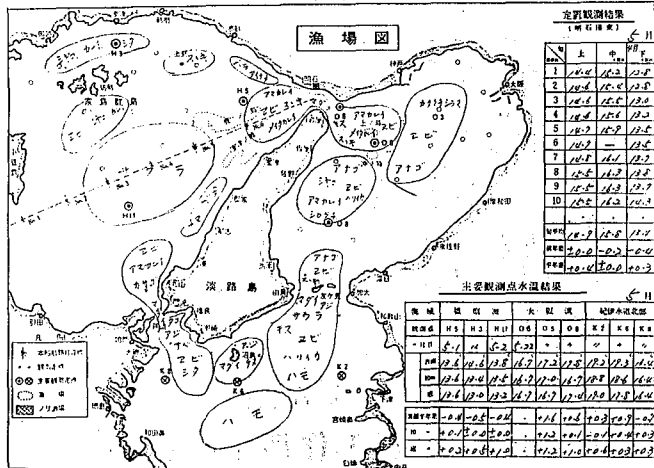
※沼島……小型底曳網 チヌ50～80キロ@850、マダイ10～20キロ@3,000、40隻。各1本のヒラアジ25キロ@1,400、マサバ10キロ@300、40隻。チヌ15キロ@1,200、15隻。刺網チヌ5キロ@800、ハリイカ3キロ@800、サザエ5キロ@800、26隻。

※福良……小型底曳網 シラサエビ4キロ@5,100、カワツエビ15キロ@2,000、小エビ(活)4キロ@600、(死)25キロ@200、ガザミ2キロ@1,000、シタ3キロ@1,000、テナガタコ4キロ@1,000、その他12キロ@600、15隻。各1本のカサゴ8キロ@1,000、15隻。マサバ20キロ@300、マルアジ3キロ@1,000、20隻。マダコ6キロ@1,150、13隻。キス8キロ@1,350、15隻。刺網アマカレイ2キロ@1,240、ベラ(青)3キロ@1,500、ベラ(赤)3キロ@1,000、キス3キロ@1,590、25隻。延縄ハモ40キロ@2,400(内4キロ@1,000@500)、13隻。撒餌網マダイ4キロ@3,300、ススキ30キロ@2,100、セイゴ3キロ@1,120、チヌ8キロ@1,190、カサゴ30キロ@1,400、20隻。突棒タコ3キロ@1,150、アワビ20キロ@2,000、サザエ4キロ@900、15隻、セトガイ25キロ@300、3隻。ウニ70枚1枚800、5隻。モズク60キロ@700、8隻。五智網マダイ18キロ@3,300、4キロ@2,300、チヌ20キロ@1,190、ウソフカ10キロ@400、5隻。

※五色町島飼支所……サワラ流し網上旬5尾(平均目廻り2,820g)@1,515、19隻。中旬11尾(平均目廻り2,980g)@1,010、22隻。下旬4尾(平均目廻り2,950g)@1,130、25隻。

◎本月の特記事項

※チヌ・マダイ……本月に入って紀伊水道中・西部並びに鳴門海峡南部海域では前年に引続きチヌ・また本年は加えてマダイの好漁が目立っている。本年はとくに沼島漁協所属の小型底曳網は全船チヌ・マダイを対象とした操業に切り替り1日1隻当りマダイ@10～20キロ、チヌ50～80キロの豊漁で従って例年の漁獲物であるエビ類、タコ類、アナゴなどは皆無である。またその他の各種漁業の漁獲物もチヌが主体を占めている。



6月の海況と漁況

◎ 海況

※大阪湾(淡路島側)……6月22日の調査結果ではほぼ全域にわたって各層20.5℃内外を示し平年より高目傾向を示したが沖ノ瀬周辺水域では表・中層21.5～21.7℃で+1.9℃高目で他水域と±1.0～1.2℃の偏差を示した。

※播磨灘……2～3日の調査結果では北西部及び家島島周辺表層18.0℃内外、中・底層16.0℃内外を示したがその他の海域は各層17.8～18.0℃で上・下差がなく平年比較では全域にわたって大阪湾同様や高目であった。

※紀伊水道北部……22日の調査結果では東部表・中層22.0～23.0℃と底層19.2～21.0℃。中部表・中層21.5℃内外、底層17.2～20.2℃。西部各層19.5℃内外をそれぞれ示したが本月は東・中部域では層間、水層的に大巾な偏差がありとくに和歌山県沿岸部st・k2・k1では表・中層23.0℃台を示し平年比較で+1.8～2.0℃高目に反し沼島東南東(st・k4)では底層17.0℃台の冷水塊があり複雑な水温分布を示した。

◎漁況(各地)

註・以下は1日1隻当りの平均漁獲量@は1キロ当りの平均単価目、何隻は操業隻数

※明石浦……メイタカレイ13キロ@5,500、アマカレイ@4,000@2,500、マダコ13キロ@800、エビ8キロ@1,000@500、アナゴ3キロ@1,350、40隻(大阪湾北西部40隻)。メイタカレイ10キロ、アマカレイ17キロ、マダコ15キロ、エビ10キロ、アナゴ5キロ、30隻(播磨灘東部)。明石海峡は漁況悪く操業船なし。各曳網、マルアジ40～50キロ@2,500～3,000、60隻、スズキ10キロ@2,750、15隻。延縄アナゴ75キロ@1,200、2隻。ブンチン漕イシカレイ18キロ@2,000@1,000、4隻。

※岩屋……船曳網カタクチシラス200キロ内外、@570～1,570、17隻。小型底曳網エビ10キロ@500、アナゴ30キロ@650、ノソフカ3キロ@200、ハリイカ3キロ@1,200、マナカツオ2キロ@1,250、9隻。各曳網ススキ2キロ@3,300、アコオ1キロ@5,000、メバル2キロ@2,300@1,100、マルアジ2キロ@2,500、合計50隻。延縄アナゴ3キロ@640、21隻。キス刺網15キロ@1,350、2隻。吾智網マダイ15キロ@2,800、4隻。

※由良……小型底曳網 マダイ10キロ@3,950、20隻。メイタカレイ2キロ@3,340、アナゴ6キロ@600、マダコ4キロ@1,300、小エビ15キロ@490、シラサエビ10キロ@1,700、ハモ1キロ@4,980、60隻。各1本のマダイ3キロ@4,000、ススキ2キロ@3,900、50隻。マルアジ4キロ@2,000、50隻。各延縄ハモ20キロ@4,840、4隻。カサゴ20キロ@1,120、アナゴ13キロ@550、5隻。各刺網マダイ3キロ@4,080、ススキ4キロ@3,640、カサゴ3キロ@2,200、7隻。キス21キロ@1,200、7隻。タコ壺網20キロ@1,380、3隻。突棒アワビ5キロ@2,040、10隻。

※沼島……小型底曳網 カワツエビ30キロ@1,450、小エビ(活)15キロ@550(死)75キロ@160、キス2キロ@700、アナゴ5キロ@500、42隻。各1本のマルアジ25キロ@1,100、ヒラアジ12キロ@1,400、マサバ10キロ@300、50隻。エノコ8キロ@80、3隻。延縄ハモ15キロ@5,500、アナゴ10キロ@550、タチウオ5キロ@1,000、5隻。刺網アカシタ35キロ@1,400、クルマエビ1キロ@7,000、25隻。

※福良……小型底曳網 シラサエビ4キロ@4,800、カワツエビ3キロ@1,500、小エビ80キロ(活)700(死)200、ガザミ1キロ@3,000、アマカレイ15キロ@500、32隻。メイタカレイ7キロ@2,500、シタ(青)7キロ@2,150、ハリイカ2キロ@1,000、3隻。吾智網マダイ23キロ@3,000、チヌ2キロ@1,000、キス12キロ@1,200、2隻。各1本のキス3キロ@1,300、カサゴ1キロ@400、15隻。マルアジ13キロ@1,400、2隻。カサゴ5キロ@1,100、メバル1キロ@1,400、20隻。撒餌網アイナメ1キロ@1,500、カサゴ1キロ@1,200、マダイ(大)3キロ@3,000@3キロ@2,300、チヌ2キロ@1,200、マルアジ3キロ@1,400、ススキ17キロ@2,300、12隻(5組)。各延縄アナゴ25キロ@575、2隻。ハモ45キロ@3,400、12隻。ベラ15キロ@1,700(赤)1,300、2隻。刺網アイナメ1キロ@1,000、カサゴ、メバル2キロ@1,000、ベラ15キロ@1,200、13隻。各突棒ウニ30枚900、5隻。モズク35キロ@500、10隻、アワビ4キロ@2,000、12隻。

※丸山……吾智網マダイ30キロ@2,800、4隻。板曳網マダイ35～40キロ@2,800、3隻。エビ75キロ@300、アナゴ8キロ@500、ヒイカ6キロ@300、4隻。延縄アナゴ35キロ@800、カサゴ15キロ@1,100、15隻。各刺網キス40キロ@950、10隻。オコゼ30キロ@1,800、アマカレイ15キロ@1,200、8隻。タコ壺網30キロ@1,300、5隻。サワラ流し網20～30キロ@1,100、2隻。

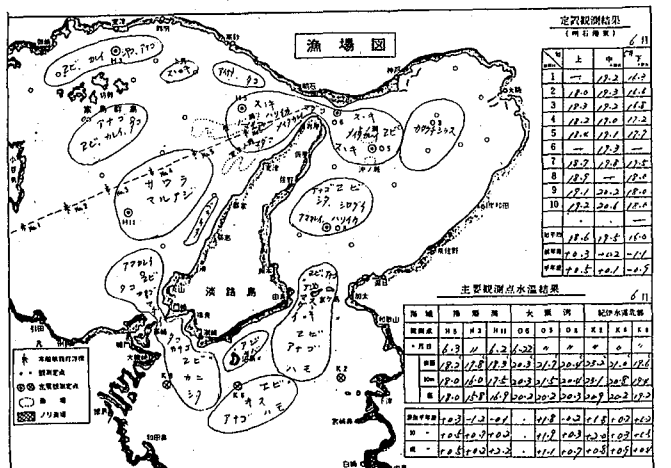
※五色町島飼支所……サワラ流し網上旬8尾(目廻り3,110g)@1,130、25隻。中旬17尾(目廻り2,800g)@810、21隻下旬16尾(目廻り2,830g)@1,010、27隻。

◎本月の特記事項

※サワラ……前年の昭和52年の春群は外海より内海域への回遊時期は例年よりやや早目で5月中・下旬に主群が来遊し盛漁期に入り春期内海進入産卵群は豊漁で終始したが本年は約20日おくれて6月中旬となった。5月中の漁況は平年を下廻り漁率は芳しくなかったが本月中旬以降前年並の好漁が続いている。

※マダイ……本月に入り各海峡及びその周辺域では盛漁期に入り前年を上廻る好漁でとくに鳴門海峡域では吾智網で1日1隻20～40キロと往年を思わせる豊漁。

※マルアジ……例年5月下旬以降外海より内海へ産卵回遊しとくに唐ノ瀬及びその周辺域で約1.5ヶ月間集中的に漁場が形成され連日100隻を越える曳網船で盛況を呈するのが常であるが本年は当初より例年の1/2程度の釣獲で極めて不振が続いている。



③

水仙・みかんで有名

町の南部沿岸の僻地にあり、論鶴羽山系がつくる急斜面の断崖を背に受け、西

水仙の花の大籠いただきて
運ぶ娘にゆずるそばみち
(富田碎花)

前面に好漁場が展開

は殆んどが海岸から五〇—一五〇米登った山腹を切り開いて生活している。水仙・みかん・びわ・きく等が特産、なかでも水仙はとくに有名で毎年黒宮水仙郷では一月一日から三月一日まで「水仙まつり」が行われ、約一〇ヘクタールにわたって咲き乱れる淡黄色の花が形成されている。

漁場は洲市との境界の沖合から河口湾峡附近まで約八キロメートルに及び、沿岸部には藻類及び天然蘆葦が繁茂している。その漁場環境は大飯瀨、播磨瀨と異り水深二〇—四〇メートルと深々、黒潮の影響を受けて内海、黒潮に囲まれた魚類の主要産地として極めて好漁場となっている。



室津漁港

史実も多い格調漁港

昭和三十三年三月、第九回もなないが、この西播磨沿岸では毎年赤い赤褐色になった。海面をみると、とが新しくなってきた。川州三組が最近の海況から「一昨年の赤い海をみると、津で魚を活かすおことは不可能となった。どうして

梅
の
名
所

に恵まれた播磨灘を前面に控えた室津は梅の名所としても有名で、近年新舞子の綾部山に梅二万本を植えて一大梅林、室町時代に建てられたという室山城跡に出るが、

これからの課題、

流通基盤の整備

小型定置網、刺網、小型、出荷されているが、(京阪)
底曳網で漁獲される魚類は、神外九・一%、地元九%、
仲買人の連船販売又はトランス、
この阿方地区に輸送さ、
路のため、漁港や海岸道
路のない水場処理施設が未
だ不十分なため、一般に魚
場、東京方面に大型冷凍車、
価が低くなりがである。
く、大漁時に魚価が暴落し、
漁業抑制等も行っている
が、は漁りへの門閥な解
決には、漁港及び施設、海岸
道路等の整備が急がれる情
況である。

漁業生産で西播の雄

当地区は播磨地区の西部、掛保郡御津町の南西端に位置し、山陽電車網干駅から西へ約一〇キロメートル、人口一、九〇〇人、戸数一五〇戸である。

このうち漁業組合員は二〇〇人余り、漁家数一八一戸、漁船数一八八隻、前記のとおり古来より沿岸漁業への依存度は非常に高い。

漁港整備すむ

漁港整備すすむ

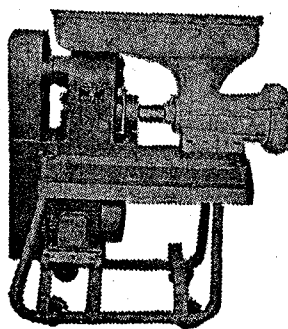
漁港については、神代の 充実等近代漁業に対応す
背より自然条件に恵まれた ため、漁港整備は、第三
良港として良く知られた港 次、第四次漁港整備計画
であった。今日では漁業の び、海岸保全施設整備計
基盤である漁港として、利 西に基づき（昭和 38 年）
漁船の安全泊地の確保、 和 50 年）総合的な漁港施設
けい留施設、漁港施設用地 の完成を見た。その後漁船
の大型化は急激な変動に 伴い、このたびの第六次漁
港整備計画（昭和 52 年）で は、泊地の拡大のため所
波堤の延長、けい留施設、 漁港施設用地の拡張など
整備を昭和 52 年より実施し ている。

× ×

達しているが、とくに養蚕のりは五二年度で生産枚数六百万枚、一億二千万円をあげており、特筆されることとは極めて良質のりが生産されていることである。色艶は他地区に多少劣るが、口の中でトロケルような味と香りは絶品である。



養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチヨッパーで



養魚用ミートチヨッパー№32から№72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

(御一報次第カタログ贈呈いたします)

ミートチヨッパーとプレート、ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所
神戸市長田区水笠通5番5号
TEL. 代表神戸(078) 921-1527

漁業に意欲的明らか

漁業後継者意識調査

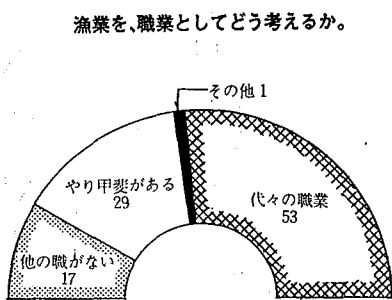
—県水産課—

県水産課は、四〇才未満の漁業者を対象に漁業後継者の意識調査を実施、漁業環境など漁業の将来について漁業青年はどうか考えているかを調べた。

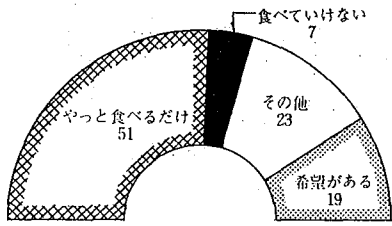
調査の結果は、現在の生活の場を「住みよい」と見ている青年は七割を占め、漁業を職業としては「代々の職業である」五割、「やり甲斐がある」と答えた者は三割弱であった。反面、漁業の将来性については「や」と食べるだけ」が五割を超え、子供にも漁業をやらせるかについては、「今のところ決めていない」が六割近くもあり、漁業の将来に不安を抱き、判断を付かねてゐる。漁業経営については、「経営規模を拡大したい」六割、「新しい知識、技能を学びたい」が八割を超えており、全般的に漁業には意欲的であることが明らかになった。

二人に一人が不安

三百人にアンケート
この調査は、二百海里漁業専用水域の実施、燃料、漁業用資材の高騰、赤潮等漁業環境の変化など及び漁業経営の中で、漁業の将来性と後継者問題について、働きざかりの漁業青年がどのような意識を持



漁業の将来性はどうか。



る「五三三」やと食べるだけ「五一」。「漁業はやり甲斐がある」「将来に希望がある」「漁業は危険だし仕事に激しい」「金遣い、理立てで通しにくい」など、又漁業を継ぎたい理由としては、「代々の職業」が四八%、④代々の漁師としての誇り、⑤危険を除くもの、⑥機械化すればある、⑦経営を大きくしたい、⑧子供と一緒に仕事をしたい、などをあげている。

知識習得希望八六%

しかし、「やりかたでは将来性がある」三七%、「今更、他の職業につくこと」はできない「三三%」、「漁業は代々の職業である」「二化を求めると同時に、新しい知識、技能を身に付けたい」として「今後漁業を続ける」が全体の九二%を占めている。

考える漁家婦人に 婦人部ブロック講習会

兵庫県漁協婦人部連合会

今年も県漁協主催の漁家婦人部ブロック講習会が十月、四地区に分けて催されました。最近これまで以上に活動が活発になっている婦人部ですが、このブロック講習会も今年ばかりは変わりました。去年までは各界の先生から話を聞き「かしこい漁家婦人になる」を目標にしていましたが、今年は一歩前進し全ブロック共通のテーマが定められ、その問題点を明らかにし、自分達で考え、決定した方針によ

たくない」が二五%で「子供にも従事させたい」の十六%を大きく上回り、「今のところ決めていない」が五九%もあり、漁業の先行きに明るい展望を持てず、判断を付かねてゐる青年が過半数を占めていることが分った。

主な質問と回答

(数字は%、複数回答は)
(合計は100%を超える)

- 問1 現在の生活の場を住みよいと思うか。 71
思う 20
思わない 9
どちらでもない 9
- 問2 漁業について、職業としてどう考えるか。 53
代々の職業である 29
漁業はやり甲斐がある 29
他の職業がないからやっている 17
その他 1
- 問3 漁業について、将来性はどうか。 19
漁業は希望ももてる 19
やと食べるだけ 51
漁業では食べていけない 7
その他 23
- 問4 あなたは、子供に漁業をやらせるか。 16
子供にも従事させたい 25
子供にはやらせたくない 59
今のところ決めていない 2
- 問5 あなたは、今後も漁業を続けるか。 92
続ける 8
続けない 8
- 問6 漁業を続ける場合、どうしたいか。 28
今のまま続けたい 28
経営規模を拡大したい 58
経営規模を縮小したい 3
他の漁業に転換したい 6
その他 5
- 問7 習得したい知識や技能があるか。 18
新しい漁具、漁法 18
養殖技術 29
加工技術 3
流通技術 12
船舶職員資格 19
その他技術、技能資格 11
なし 13
- 問8 町内のいろいろな集会に出席するか。 16
よく出席している 56
時々出席している 26
殆んど出席しない 2
無回答 2

意見発表をする婦人部員

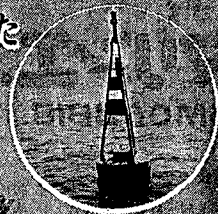
ラジオの周波数が 変わります

ラジオ放送の周波数が11月23日(木)からいっせいに変わります。全国のNHK、民放、合わせて493局のうち、467局の周波数が変わるという大規模なものです。皆様の地域の新しい周波数は別表のとおりですので、11月23日になりましたらダイヤルを回して新しい周波数にお合せ下さい。

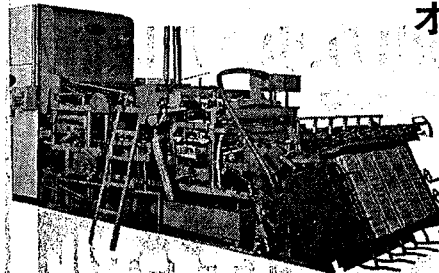
NHKラジオ放送周波数変更一覧 53.11.23から

都道府県	放送局	第1放送		第2放送			
		周波数(KHz)	現	新	周波数(KHz)	現	新
京 都	舞 鶴 宮 津	1340	1341	1600	1602		
		1000	999				
兵 庫	豊 岡 香 住	1160	1161	1540	1539		
		1340	1584				
鳥 取	鳥 取 米 子	1320	1368	1080	1125		
		960	963	1520	1521		
鳥 根	松 江	1300	1296	1590	1593		

信頼された技術から生れた
信頼ある性能品!



株式会社 せいさい
池田市豊島南2丁目16-1 TEL (0727) 62-7001



オーツボ式
全自動海苔
製造機
ダイオート

東日本総代理店
アイサン工業株式会社
愛知県西尾市寺津町二丁目26番地 電話05635-9-7181

みんなで守ろう

きれいな海を

香住漁港廃油処理施設

昭和45年に海洋汚染防止法が制定され、船舶から海に排出された油はみなさんご存知のとおりです。しかし現在もなお油に汚れた海洋や港の汚染が大きな社会問題として、たびたび新聞紙上を賑わしております。

兵庫県では、昭和50年に汚れた海や港をきれいにし美しい港をつつまでもわれわれのふるさととして守ろうと、香住漁港内に廃油処理施設を建設し、その利用状況を、はじめの予想を大きく下回って低調です。海や港は、漁業者にとりて生活の場であり、憩いの場でもあります。それを自分たちがよく守っていることに気づいて、

小型船舶操縦士講習案内

講習案内

◎国家試験のための準備講習会			
種類	場所	日程	
小型四級	伊保漁協	S53.11・中旬	
小型四級	山良漁協	S54.2・	
◎第二種養成施設			
小型四級	神戸漁協	S54.12・上旬	
小型四級	岩屋漁協	S54.2・上旬	
小型四級	室津漁協	S54.1・中旬	
小型二級	家島漁協	S54.4・中旬	
小型二級			
(注)詳しくは兵庫県漁連指導部まで			
TEL (078) 681-6954			

のり漁場環境調査始まる

県漁連

県下の沿岸主要漁場での、業界の自主的な立場に水質環境等を定期的に調査、つねに漁場環境の改善をはかることとなる。

これは、去る八月より実施されていた水質調査をひきつづけて、今年からはのり養殖を主体としたもので、栄養塩類をはじめ、作柄等について調査を実施してゆく。

調査地点は、赤穂をはじめとした、播磨・摂津の沿岸ののり漁場をはじめとして、淡路島周辺で14地点、第1回調査は11月20日から3日間行われ、第2回以降は各月の中旬・下旬にかけて行われる予定となっている。

なお、詳しくは、兵庫県漁連までお問い合わせ下さい。

（53・10・31）
ゆらぎよん 山上

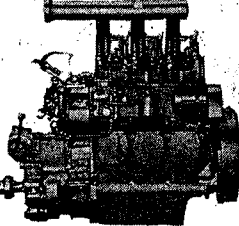
漁協一代 (その七)

作花英治

あることを知っていきさ... 漁協生活の序幕 (四) きて八月十日の二六三... 号で開かれた水産部... 技員は但馬漁港に... 設置第一号の人で二六四... 号に記述したとおり... 赴任のため共同販売所... 赴任したのが当時の県... 商工課水産主任技師... 本五氏(故人)の後... である。杉本氏は... 北海道的道庁大学水産... 門部(後の函館高等水... 産学校)卒業の技術行... 政官であったが、我が... 佐津村の水産振興のた... めに自分の後援である河... 口剛中という人(現在河... 口剛中という人)を起用... して派遣したのであ... った(現在但馬漁連上... 重式副会長が大洋漁業... 身兼商店を辞して旧香... 住町初代水産技師に迎... へられたのが昭和七年... であつたことと考えると... 昭和五年頃の佐津村に... 対する措置は相当思い切... った英断であつた。何分... 中高等学校卒業という学... 歴があつたことから考え... て現在の大学卒に匹敵す... る当時の専門学校卒業と... 言えば稀少価値十分の人... 歴で、既に中年のこの人... は若任早々住民から「河... 口先生」の敬称で呼ばれ... たことは勿論である。筆... 者は出勤第一日、市が終... 了から浜帖整理に着手... したため一服休憩の時... 刻起きたばかりの河口技... 師に「今後よろしく」と... と挨拶しようとしたら機... 先を制して彼は「花作... の原理を知っているか... とのことだ。何分県庁... 質問を免れた。いささか... 常識はつねに人を分る... の人は私が中学校卒業で... までとてエライ人に... 見えたに相違ない。私は... 河口先生を訪問する漁師... 等が、足音も静かに二階... に入り控へる部屋の仕切... 木の外から「失礼しま... き」と声をかけて機を開... きた中に入ると、たまた... であるから当然だが勝手... して、事務機の下から... 「先生今日は」と低頭数... 回、おもむきに来意を告... げる。先生は椅子だから... 漁師を見下すすかそう... になる。机上に勿体なく... 「県漁業取締規則集」... など開いて「フンフン」... と聞きながら鼻くそをほ... じている様子を見たも... じでいた。お茶を持っ... て行ったときと、大き... な声で、相談に来た漁師... を叱りつけている風景も... たびたびの目にのりし... た。感服されても叱られ... ても漁師にとっては自分... が直接県庁の役人に交渉... するのでもないから大助... かりだった。一桁とは謂へ... り昭和の初期でさえ、官... 卒なわち「お上」というも... のは無知の大衆にとって... の存在だったのだ。し... かもこの河口技師は... 時の水産主務課の(水産... 課が独立したのは昭和... 昭和九年から十年と記憶... それまでは経済部の時に... 農務課時に商工課の中に... 一係として置かれていた... に過ぎなかった。この頃... は前述の如く商工課に属... していた。水産係主任技... 師(当時係長とは呼ば... ず、主任と言ひ事務官... たは技師。現在の二級吏... 員に相当する高等官の... 二級身分であったが、こ... ういう階級の人々が主任... 充てられていた。の後輩... でその上流大専門出身... という学歴が漁師達を圧... 倒していたのだから無理... はなかつた。(次号につづく)

一滴の燃料を生かす確かな技術

余裕の出力、曳き力抜群!



船舶主機
(内海底曳用)
3E15B形
(15馬力/1400回転)

●船舶主機用3.0~2400馬力●
●船舶補機用3.5~3600馬力●

ヤンマーディーゼル

●詳しくはカタログをとり寄せ下さい ● 神戸市東灘区 住吉浜町17 TEL (078) 811-1174

いすゞ

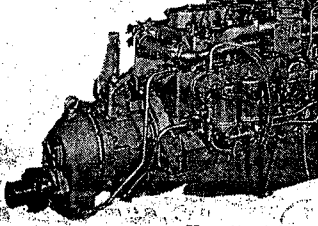
マリンエンジン

UM06BB1B

高速への挑戦!

特長

1. 小型、軽量、高出力
2. 卓越した耐久性、信頼性



神戸いすゞ自動車株式会社 TEL (078) 811-1174